いっぽいっぽ

かんがえ　かんがえ

学校図書館巡回ニュース

66 号

2024 年 2 月発行

蘭越町花一会　Tel・fax　57-6085
学校図書館巡回派遣事業担当
若林由美子（司書・司書教諭有資格）
金子千明　（司書有資格）

学校図書館で貸し出しが多かった本の統計を出しました（裏面）。子どもたちは文章量が多いと、なかなか手に取りません。先日、毎日新聞の記事で「ガンバの冒険」の著者であり浦和絵本大学で20年にわたって子供にとっての絵本の大切さを説いてきた斎藤 惇夫さんが、「10 歳までは読書に付添人が必要です」と語っていました。ふと 10 歳まで読書の付添人を持てる子どもはどれくらいいるのだろうと思いました。公的な立場からの子どもの読書への関わり方も時代とともに工夫が必要だと思います。

小学校授業支援後の交換展示

２学期小学校５年生の国語「図書すいせん会をしよう」で作成された POP は３学期に両校の学校図書館で交換展示しました。昆布小学校から蘭越小学校に転校してきた児童はこの展示を、「〇〇くんのだ、多分これは〇〇くんの」などと言いながら興味深そうに見ていました。

昆布小

蘭越小

蘭越小学校は、宮沢賢治作品を『雪わたり』学習中に並行読書しましたので、賢治作品の中からおすすめを選び、昆布小学校は普段読んでいるものからおすすめしたい本を選びました。

各校新着図書が入りました。ぜひ実物をご覧ください

教科に関する本も多数入っています

蘭越小

昆布小

蘭越中　図書委員も展示を手伝いました

蘭越小１年生国語「おはなしどうぶつえんをつくろう」

ブックトーク「動物いっぱい楽しい絵本」

紹介本『うごいちゃだめ』に合わせて司書と「動いちゃダメ競争」を間に入れてちょっと長めのブックトーク、最後まで聞けました。

蘭越小４年生国語
「調べたことを発表しよう」出典の示し方と引用ルール

調べる活動に入る前に、出典の示し方と引用ルールについての確認をするための支援授業です。
難しいのはインターネットの出典です。これからネット情報も使いながらの調べ学習になると思いますが、著作権を尊重すること、情報源を意識することをそれぞれの学年で積み重ねていけると良いですね。
時間も押してしまいましたが事前に道立図書館から借りたユニバーサルデザインの本などを利用して、まずは奥付の場所、そして本の出典の示し方を確認しました。

学校図書館で貸し出しが多かった本は？（４月～１２月集計）

【蘭越小学校】

1～2 年 41 人
10 回

3～4 年 58 人
17 回

5～6 年 56 人
7 回

【昆布小学校】

1～2 年 16 人
9 回

3～4 年 18 人
7 回

5～6 年 13 人
7 回

蘭越中学校 98 人　8 回

【傾向】

小学校では児童文庫の「みらい文庫」や「つばさ文庫」を読む子もいますが、絵に迫力のあるバトルもの、漫画で描かれた怖い話等、「絵」で読めるものが人気です。低学年でも絵本や幼年童話を読む子は少なくなりました。